

毎月、「通信」を作成するにあたり、前年同月号をチェックします。昨年の2月号を見ると、「早くも2月、年度末まで残り2カ月かと思うと、少々焦りを感じます」とあります。今年も、そのまま書いてもいいくらいで、前年から進歩が見られないのは情けないと思いました。

3月まで、年度末特有の仕事もあり、容易ではありませんが、今年も例年通りに実績を積み重ねて行きます。会員事業場のみなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

【1月の協会活動報告】

＜新年安全祈願祭を開催＞ 1月9日

1月9日(木)新年の安全祈願を行いました。役員22名と須賀川労働基準監督署の齋藤署長にもご参加いただき、須賀川市の神炊館神社でお祓いを受け、大塚裕昭会長が代表して玉ぐしを奉奠し、二礼二拍手一礼をもって今年の無事故を祈願いたしました。

安全祈願終了後、神社から場所を移し、協会活動の実績報告と会計状況報告を行ったのち、懇親会を開催いたしました。今年の懇親会は例年以上に和気あいあいとした雰囲気、年始の挨拶ののち率直な意見交換もでき、楽しいひと時を過ごすことができました。



神炊館神社本殿前

＜ガス溶接技能講習＞ 1月25日・26日

技能講習で真冬に実施しているのは「ガス溶接技能講習」だけです。玉掛・クレーンは外での実技講習ですので、真冬の開催は現実的には厳しいです。今回のガス溶接講習は屋内で、ストーブも用意してもらい、実施しています。

ガス溶接は金属材料の切断や溶接などに必要な技能ですが『ガス』を扱うことから、爆発・火災、中毒などの危険有害性と背中合わせにあります。

過去には大きな事故が発生したこともあり、講習では知識・技能だけでなく、「安全な作業」を行うための知識の確保や安全意識を高めることに重点を置いた講習を行います。



ガス溶接実技講習

＜須賀川労働基準協会のこれからの活動予定＞

2月の活動予定

- 7日 RST須賀川(建設業系安全衛生団体)勉強会
- 12日 石川方部安全衛生研究会 安全パトロール
- 14日 リスクアセスメント講習 (LIXIL総合技術研修センター)
- 26日・27日 職長教育 (LIXIL総合技術研修センター)

3月の活動予定

- 上旬 理事会 (令和6年度事業計画・予算審議)
- 11日 労災研修会 (LIXIL総合技術センター)
(今月の定期資料送付時に案内書を送付しております)
- 13・14・16日 玉掛技能講習
- 24日 労働局：災害防止団体連絡会議(福島市)

＜安全衛生活動年間予定＞

安全・衛生活動に関係する、年間活動予定を抽出します。スペースの関係で、活動件数を絞り込んでおりますが、もう少し詳細なカレンダーを「リーフレット」形式にして、今月の資料送付に同封いたします。また、ホームページにも掲載しますので各社で加工して自社の安全衛生活動計画に織り込んで下さい

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1月 年末・年始無災害運動 | 7月 全国安全週間 |
| 2月 化学物質管理強化月間 | 8月 電気使用安全月間 |
| 3月 自殺対策強化月間 | 9月 全国衛生週間準備月間 |
| 4月 春の交通安全運動 | 10月 全国衛生週間 |
| 5月 水防月間 | 11月 過労死等防止啓発月間 |
| 6月 全国安全週間準備月間 | 12月 職場のハラスメント撲滅月間 |

【福島労働局・須賀川労働基準監督署からのお知らせ】

＜福島労働局からのお知らせ＞

資料全体はホームページに掲載します。

上記の年間カレンダーの通り、2月は「化学物質管理強化月間」です。福島労働局より月間中に実施すべき事項等について資料をいただきましたので、紹介いたします。

＜化学物質管理強化月間にすべきこと＞

- (ア) 製造または取り扱っている化学物質の把握及び化学物質の安全データシート(SDS)等による危険有害性等の確認
- (イ) 特定化学物質障害予防規則等の特別規則、石棉障害予防規則の遵守の徹底
- (ウ) ラベル表示・SDS交付、リスクアセスメントの実施等
- (エ) 化学物質管理者の選任状況の確認
- (オ) 日常の化学物質管理の総点検
- (カ) 事業者又は化学物質管理者による職場巡視
- (キ) スローガン等の掲示
- (ク) 有害物の漏洩事故、酸素欠乏症等による緊急時の災害を想定した実地訓練等の実施
- (ケ) 化学物質管理に関する講習会・見学会等の開催、作文・写真・標語等の掲示、その他化学物質管理への意識高揚のための行事等の実施

＜冬場の転倒防止の案内＞

- 転倒災害は年々増加
転倒災害の死傷者数は令和元年の29,986人から令和5年は36,058人と5年で約6,000人増加しています。
また、性別・年齢別では50歳以上の中・高齢の女性が約半数を締めており、高齢になるほど運動機能の低下などで転倒発生率は高まります。
- 転倒災害の危険ポイントと対応
 - タイル貼りの床に注意。特に雪道や水にぬれている状況は危険。
 - 横断歩道で白線部は凍結状態が見えにくく危険。
 - 歩行は小さな歩幅で、足裏全体を意識して歩くこと。
 - 両手を空けて、万が一転んだ場合、受け身が撮れる状態にする。



＜福島労働局からのメールマガジン＞から

福島労働局から毎月「メールマガジン」が届きます。協会のホームページに掲載をしております。「福島労働局」からのメールマガジンですので、労働局の活動実績の報告が中心ですが、事業場にとっても大事な情報が載っておりますので、チェックをお願いします。

1月にいただいた分から、項目だけとなりますが、紹介をさせていただきます。気になる項目があれば、ホームページから内容確認をお願いします。

- 福島県最低賃金、業種別最低賃金の情報
- 労働者死傷病報告及び労働安全衛生関係の一部手続きの電子申請の義務化(7月から)
- 両立支援助成金の拡充
- 福島冬季転倒防止運動(転ばないでね!)
- ほか、福島労働局からのお知らせ・イベント情報など